

事業名	赤潮発生状況
予算区分	
事業実施期間	(継続事業)
担当者	(環境増養殖担当) 吉田和貴, 朝田健斗, 加藤慎治
共同研究機関等	

<目的>

令和2年に徳島県沿岸域で発生した赤潮について、公式に記録することを目的とする。

<方法>

漁場環境調査等における観測や漁業者からの聞き取りを元に、赤潮の発生期間、発生海域、赤潮構成種及び漁業被害についてまとめた。

<結果>

表1に令和2年の赤潮発生状況、図1に赤潮発生件数と被害件数の推移、図2に赤潮発生海域をそれぞれ示した。令和2年は、昨年より4件多い5件の赤潮が発生した。このうち、8月に発生した *Chattonella ovata*, *Cochlodinium polykrikoides* の混合赤潮により養殖ハマチ約5,000尾が斃死し、1,200万円の漁業被害が生じた。また10月に橘湾・椿湾～海部郡沿岸において発生した *Karenia mikimotoi* の赤潮により穴喰地先の畜養のサザエ・小型魚類・イカが斃死した。被害金額は不明。海部郡で *Karenia mikimotoi* の赤潮が発生したのは平成7年以来、25年ぶりであり、例年7～8月に発生する本種が9月以降に発生したのは今回が初めてであった。

表1. 令和2年の赤潮発生状況

番号	発生期間	日数	発生海域	赤潮構成種	漁業被害	最高細胞数 (cells/mL)
(1)	8/15～8/19	5	鳴門市北灘沿岸	① <i>Chattonella ovata</i> ② <i>Cochlodinium polykrikoides</i>	有	①106 ②698
(2)	10/1～10/12	12	阿南市橘湾・椿湾～海部郡沿岸	<i>karenia mikimotoi</i>	有	9,400
(3)	10/2～10/4	3	阿南市椿湾	<i>karenia</i> sp.	無	2,600
(4)	11/17～11/19	3	鳴門市北灘沿岸	<i>Noctiluca scintillans</i>	無	不明
(5)	11/18～11/19	2	海部郡沿岸	<i>Noctiluca scintillans</i>	無	不明

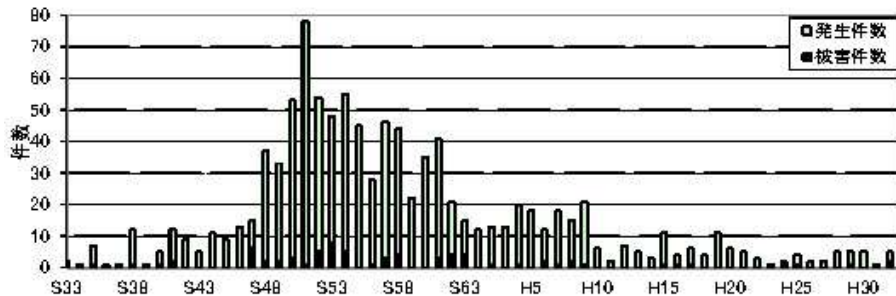


図1. 赤潮の発生件数と被害件数の推移

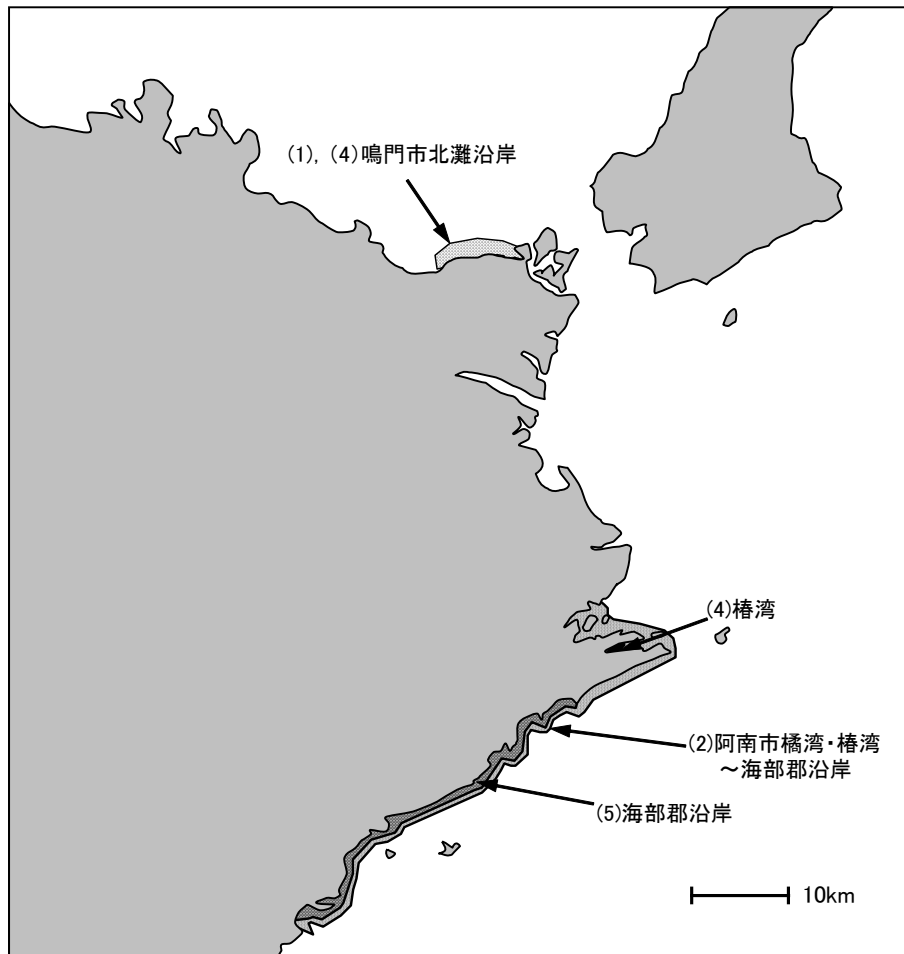


図2. 赤潮発生海域。図中の番号は表1に示した赤潮の番号を示している。

< 今後の課題 >

< 次年度の計画 >

継続する。

< 結果の発表・活用状況等 >